



大畑小だより

第10号

人吉市立
大畑小学校

文責：永田

今年度最後の学期

3学期がスタートし、およそ3週間が経ちました。3学期は、1年間のまとめをするとともに、次の学年に向けての準備をする学期です。一人一人目標を持ってしっかりと頑張ってほしいと思います。

また、この3学期は、特に「自分だけでなく、みんなが楽しい」ということを大事にしてほしいという話をしています。自分を大切にするとともに、周囲の人にも心を配れる大畑の子であってほしいと思っています。

冬の寒さにも負けず、子供たちが元気に登校していることをうれしく思うと

もに、保護者の皆様や地域の方々の温かい御支援を感じます。いつも本当にありがとうございます。ご



給食旬間

1月24日は給食記念日でした。本校では、1月20日から31日までを給食旬間として取り組みました。明治の半ばに始まった学校給食は、戦時中は中断されていましたが、昭和21年12月24日に再開されたそうです。本来ならば12月24日、その日を記念しての給食記念日なのですが、2学期の終業式の日に当たるため、1か月後の1月24日を給食記念日としているのだそうです。それぞれの学級で、栄養バランスのよい献立や食事のマナー、給食に携わってくださる方々などについて学習したり、給食委員会によるオンラインでの児童集会を行ったりして、食への理解を深めました。



災害に備えて

1月17日は、阪神淡路大震災から30年の日でした。本校では、2学期に緊急地震速報訓練を行っていましたが、1月13日の宮崎を震源とした地震では、私も大変緊張しました。久しぶりの大きな揺れに、不安になられた方も多かったのではないかと思います。

日本中、どこにいても地震の被害に見舞われる恐れがあることは、御存知のとおりです。いざというときにどう行動するか、何を備蓄しておくかなどについて、御家庭でもぜひ話題にしてみてください。ちなみに私は、平成28年に大津町の小学校に勤務しており、熊本地震も経験しました。そのときに備えておけばよいと実感したのは水とトイレです。大津町の中心部の場合ですが、パンなどの支援品は、防災翌日には届きましたし、電気も翌日には復旧しました。しかし、上下水道の復旧には、4日ほどかかりました。飲料水の支援は十分ではない上に、店舗にも在庫はなく、また、避難所のトイレは悲惨な状況でした。水とトイレについては、ぜひ平時から考慮しておかれることをお勧めします。



【大畑小の思い出】
平成8年度卒業アルバムより

学校教育目標

夢や目標に向かって 仲間とともに
主体的に学ぶ 子どもの育成
『令和6年度の合言葉は「つなげる」』